

摘んでいくはず。自由にものが言える雰囲気を作っていく中で自分の行為を客観視していきましょう」と小島代表理事から話がありました。

虐待を予防するためにも利用者さんやご家族、また職員一人ひとりが、かけがえのない存在として大事にされる「えん」でありたい、そんな想いを抱かせた学習会でした。

(暮らしネット・えん看護師／新井 幸恵)

認知症対応型通所介護

通って・泊まって
デイホームえん
(デイサービス)



焼き芋タイムに参加して

～2016年12月4日(日) えんの庭にて～



前回は利用者である母親と一緒に焼き芋タイムに参加しましたが、今回はボランティアとして初めて参加させて頂きました。

焼き芋ボランティアの皆さんは、以前お会いした事がある方、初めてお会いする方…、最初は少し緊張しましたが、一緒に山を掃き、落ち葉を集め、焼き芋の準備が始まる頃には、長年の友人のように打ち解けました。昼食にと、えんのスタッフの方々が作ってくださったカレー、豚汁も美味しく頂きました。

焼き芋タイムが12年目というのに今迄一度も雨が降った事がない、とお聞きして驚きました。今回は約120名の来場者数だったそうです。

走り回る子供達…「焼き芋、まだですか？」と子供ではなく、大人の声…待ち遠しいには分りますが、焼きあがるまで時間が掛かります。

殆んどお役に立てませんでした。改めてボランティアの方々の責任、苦労が身に染みしました。無事に終わって良かった！の一言に尽きます。来年も日時が合えば参加したいと思えます。

殆んどお役に立てませんでした。改めてボランティアの方々の責任、苦労が身に染みしました。無事に終わって良かった！の一言に尽きます。来年も日時が合えば参加したいと思えます。

(デイホームえん利用者家族／鈴木賢治)